

令和8年度 第2回 入野小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年7月28日（火） 9時から10時30分まで
 - 2 開催場所 入野小学校 会議室
 - 3 出席委員 山田 渉、岩田 邦泰、河口 光善、中村 勝彦、青木 有美、朝比奈 孝、古橋 明美、原田 実穂、北村 香苗、伊藤 朋之
 - 4 欠席委員 なし
 - 5 オブザーバー 野嶋 俊之（入野協働センター所長）
 - 6 学校 坪井 百合子（校長）、江間 慎一郎（教頭）、阿部 恭大（教務主任）
辻村 佳之（CSディレクター）
 - 7 傍聴者 なし
 - 8 会議録作成者 CSディレクター 辻村 佳之
 - 9 議長の選出
司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、山田委員から伊藤委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
 - 10 協議事項
・学校評価の考察と2学期からの重点事項の検討
※教職員を交えたグループ別協議と全体での協議
 - 11 会議記録
司会から、全委員の出席があるため、会議が成立している旨の報告があった。
 - 12 前回議事録の確認
教頭より、入野小学校経営方針について全委員から異議なく承認を得たこと、いじめ防止基本方針についても全委員の承認を得たこと、夢育やらまいか事業に対し、委員より地域人材や地域の環境を生かした学習を進めていくとよいとの意見が出たこと、の報告があった。
 - 13 熟議
 - (1)学校評価の説明
教務主任より、別紙学校評価資料をもとに、学校評価の結果と、結果から分析した入野小の強み・弱みについて説明があった。
 - (2)グループ別協議
 - …入野小の「強み」と「弱み」
 - …2学期以降に重点的に取り組みたいこと
- 【きらきら（知）グループ】
- 強み
 - ・児童の「タブレットを活用している」という評価が向上している。

- 弱み
 - ・教職員と保護者の「タブレットを活用している」という評価が減少している。
 - ・「正しく読む、正しく書く」への否定的評価が増加した。
- タブレットは、目的意識をもって使用していく。場面や用途に応じて使い分けていく。
- 児童の得意や苦手に合わせて学習スタイルを変えていく。

【ぽかぽか（徳）グループ】

- 強み
 - ・「入野小のきまりを守る」項目に肯定的な児童が多い。
- 弱み
 - ・自己肯定感の低い児童が多い。
- 小さなことでも他人からも褒められる機会を増やし、自己肯定感を高めたい。
また、安心感を高めるために、登下校の際に地域の方からの声掛けを増やしてもらい、児童が見守られていると感じられるようにする。

【ぐんぐん（体）グループ】

- 強み
 - ・「健康に気を付けて生活」できている評価が高い。
- 弱み
 - ・「遊んだり運動したり」できている割合が低い。
- 運動したり遊んだりすることの習慣化を目指す。カードで奨励したり体験できる場を設定したりする。
- 体育の学習では、小さな成長に目を向けて声掛けをしていく。また、自分なりの目標をもたせ、成功体験を増やす。

【全体グループ】

- 強み
 - ・「夢をもつこと」は前年度より増加している。
- 弱み
 - ・「いじめがなく安心」の割合が減少した。
- 総合、生活の授業を活用したり、外部より講師を招いて講演を聞いたりする学習を継続していく。
 - ・発信側と受け手側で、言葉の捉え方の違いにより、問題となるケースがあるため、相手のことを考えて発言するように指導していく。
 - ・挨拶は大切。教職員、保護者が積極的に声掛けすることで児童も挨拶を交わせるようにしていく。

(3) 全体での熟議

- ・気温上昇により、日中の外遊びができなくなる、「さん」づけで呼ぶ等、時代の変化に合わせた取り組みを教職員がしていくのは大変。(朝比奈委員)
- ・アンケートの項目で昨年度の「分からない」部分の割合が、今年度の評価項目のどこにふくまれたのか不明なところがあるので、来年度も継続して評価を見取っていくことが大切。(岩田委員)
- ・いじめ対策として、ピア・メディエーションを取り入れて、言葉のやり取りについて学んでいくのもよい。(原田委員)
- ・教室の床をきれいにしてほしいという児童の意見について、これは校舎全体なのか一部の教室なのか確認したい。(北村委員)
- ・北校舎は全体が老朽化している。本年度は、夏季休業中に一教室の床修繕をする予定。(教頭)
- ・教職員が児童にしっかり向き合っていることが確認できた。今回検討して出てきた取組を、次回以降、継続して報告してほしい。(中村委員)

14 連絡事項

司会から、第3回学校運営協議会は10月2日(金)の14時から、第4回学校運営協議会は2月18日(木)の14時から開催する旨の報告があった。